

# 2016年3月期 決算説明会

2016年 6月8日

---

株式会社 **桑山**

JASDAQ・証券コード: 7889



- I. 決算概況と業績見通し**
- II. 前期レビューと2017年3月期の見通し**
- III. 次のステージに向けて**

本資料で記述しております業績予想並びに将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、需要動向などの業況の変化、物価変動、為替変動等、多分に不確実要素を含んでおります。そのため、実際の業績は様々な要因の変化により業績予想と乖離することもありえますので、ご承知おきいただきますようお願いいたします。

# I . 決算概況と業績見通し

---

## 2016年3月期 連結決算のポイント

- 売上高は、多面的な営業活動による国内売上の確保と新規販路の開拓等で海外売上を伸ばし前期比 3.7%増収で 384億93百万円
- 営業利益は、貴金属地金相場下落による販売差損等の発生により売上総利益が減少、海外を中心とした製造体制の強化による経費の先行発生から前期比25.7%の減益で 10億54百万円
- 親会社株主に帰属する当期純利益は、為替差損2億41百万円、投資有価証券売却益32百万円、法人税等合計3億31百万円の計上で前期比45.4%の減益で5億12百万円となり2016年3月期は増収、減益の決算

(単位:百万円)

	2015年3月期		2016年3月期		前期比 増減額
		伸び率		伸び率	
売上高	37,125	3.6%	38,493	3.7%	1,368
営業利益	1,420	△2.9%	1,054	△25.7%	△366
経常利益	1,509	16.6%	825	△45.3%	△684
親会社株主に帰属 する当期純利益	938	17.3%	512	△45.4%	△426

# 要約連結損益計算書

(単位:百万円)

	2015年3月期		2016年3月期		前期比 増減額
		伸び率		伸び率	
売上高	37,125	3.6%	38,493	3.7%	1,367
売上原価	26,740	2.7%	28,617	7.0%	1,877
売上総利益 (売上高総利益率)	10,384 (28.0%)	6.2%	9,875 (25.7%)	△4.9%	△509
販管費	8,964	7.8%	8,820	△1.6%	△143
営業利益 (売上高営業利益率)	1,420 (3.8%)	△2.9%	1,054 (2.7%)	△25.7%	△365
営業外収益	336	102.8%	159	△52.4%	△176
営業外費用	246	△26.0%	389	57.9%	142
経常利益	1,509	16.6%	825	△45.3%	△684
特別利益	1	△73.9%	33	2,142.1%	32
特別損失	0	△98.9%	14	1,512.6%	14
親会社株主に帰属する 当期純利益	938	17.3%	512	△45.4%	△425
1株当り純利益(円)	93.30	17.3%	50.99	△45.4%	△42.31

# 要約連結貸借対照表

(単位:百万円)

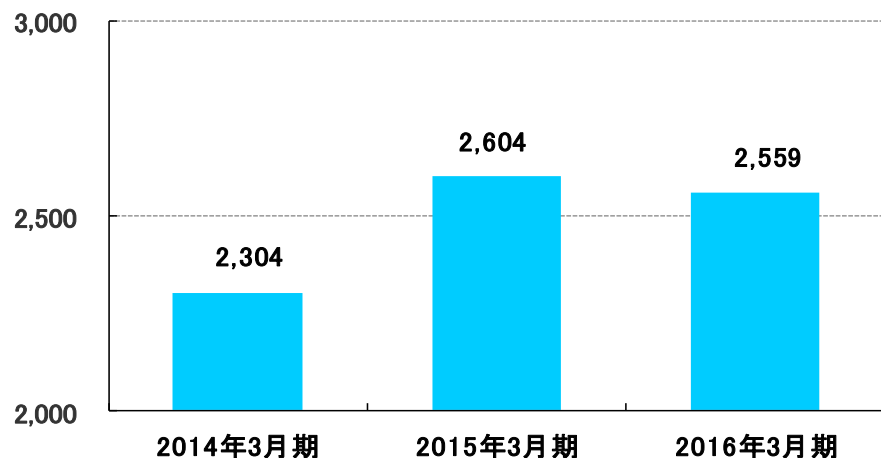
	2015年3月末		2016年3月末		前期比 増減額
		構成比		構成比	
流動資産	17,666	58.6%	19,584	62.3%	1,918
現金預金	3,204	10.6%	2,859	9.1%	△344
受取債権	5,211	17.3%	4,920	15.6%	△291
棚卸資産	8,709	28.9%	11,228	35.7%	2,519
固定資産	12,503	41.4%	11,861	37.7%	△642
資産合計	30,170	100.0%	31,445	100.0%	1,275
流動負債	10,274	34.1%	10,417	33.1%	142
支払債務	1,176	3.9%	1,052	3.3%	△124
固定負債	4,314	14.3%	5,361	17.1%	1,047
負債合計	14,589	48.4%	15,778	50.2%	1,189
純資産	15,581	51.6%	15,667	49.8%	85
有利子負債	10,992	36.4%	12,820	40.8%	1,827

## キャッシュフロー

(単位:百万円)

	2015年3月期	2016年3月期
営業活動CF	605	△1,429
投資活動CF	△1,213	△148
財務活動CF	834	1,606
現金及び現金同等物の 期末残高増減	299	△44
現金及び現金同等物の 期末残高	2,604	2,559

### ■ 現金及び現金同等物の期末残高の推移



### ■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

#### <増加項目>

・売上債権の減少額 251百万円

#### <減少項目>

・たな卸資産の増加額 △2,353百万円

・仕入債務の減少額 △96百万円

### ■ 投資活動によるキャッシュ・フロー

・有形固定資産の取得による支出 △493百万円

・差入保証金の差入による支出 △908百万円

・事業譲受による支出 △337百万円

・関係会社株式の取得による支出 △310百万円

・差入保証金の回収による収入 1,789百万円

### ■ 財務活動によるキャッシュ・フロー

・短期借入金の純増額 549百万円

・長期借入金の借入 2,650百万円

・長期借入金の返済 △1,371百万円

## 2017年3月期の見通し(連結)

(単位:百万円)

	2016年3月期	2017年3月期
	通期	通期予想
売上高	38,493	40,000
営業利益	1,054	1,400
経常利益	825	1,250
親会社株主に帰属する 当期純利益	512	745
1株当り純利益(円)	50.99	74.07
1株当り配当金(円)	18	18



## Ⅱ. 前期レビューと2017年3月期の見通し

---

# 前期レビューと2017年3月期の見通し

## 1. 海外製造拠点での差損発生

- ・ 貴金属地金相場下落に伴う差損の発生
- ・ 為替相場変動に伴う差損の発生

## 2. 国内市場の現状と見通し

- ・ ブライダル・ファッションジュエリー・素材市場のシェア拡大
- ・ 卸売市場のシェア拡大

## 3. 海外市場の現状と見通し

- ・ 中国市場への深耕
- ・ アジア・北米市場開拓

## 4. 製品力の現状と見通し

- ・ 海外での製品力強化
- ・ 3D技術・デザインコンテスト

# 前期レビューと2017年3月期の見通し

## 1. 海外製造拠点での差損発生

- ・ 貴金属地金相場下落に伴う差損の発生
- ・ 為替相場変動に伴う差損の発生

## 2. 国内市場の現状と見通し

- ・ ブライダル・ファッションジュエリー・素材市場のシェア拡大
- ・ 卸売市場のシェア拡大

## 3. 海外市場の現状と見通し

- ・ 中国市場への深耕
- ・ アジア・北米市場開拓

## 4. 製品力の現状と見通し

- ・ 海外での製品力強化
- ・ 3D技術・デザインコンテスト

# 1. 海外製造拠点での差損発生

## ● 貴金属地金相場下落に伴う差損の発生(地金相場と地金簿価の乖離)

### ■ 前期における大幅な相場下落

ープラチナ相場の想定外の下落

原因ー中国宝飾品需要の予想外の減少

ー原油価格の大幅な下落

ーVW社の偽装問題の影響

### ■ 海外製造拠点での相場ヘッジインフラの不足

1. プラチナ供給機能の不足(特にタイ)

ー日本(本社)にてPt地金を調達してタイに供給(輸出販売)

2. プラチナ関連インフラの不在(特にタイ)

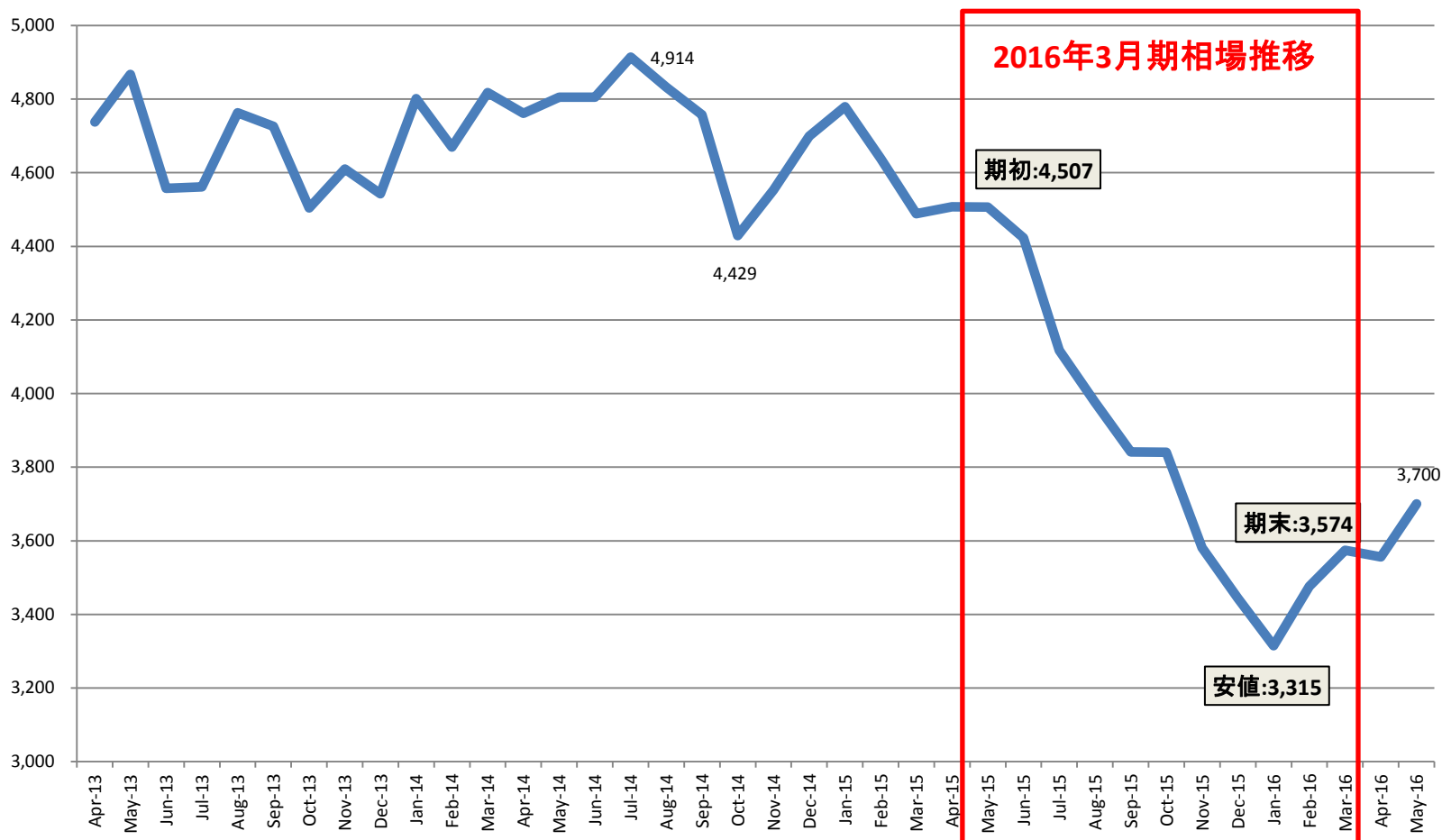
ー Ptリースが得られない(日本ではヘッジ手段の中心)

ー Ptリサイクル機能が得られない(より多くの地金在庫が必要)

### ■ 結果的に大きな地金関連損失の発生

# 1. 海外製造拠点での差損発生

国内プラチナ地金 月次平均相場推移 (過去3期 単位:円/g)



# 1. 海外製造拠点での差損発生

## ● 貴金属地金相場下落に伴う差損の発生(地金相場と地金簿価の乖離)

### ■ 前期における大幅な相場下落

ー プラチナ相場の想定外の下落

原因ー 中国宝飾品需要の予想外の減少

ー 原油価格の大幅な下落

ー VW社の偽装問題の影響

### ■ 海外製造拠点での相場ヘッジインフラの不足

1. 日本国内では多様なヘッジ手段

ー 地金のリース、フォワード取引、受注時の値決め

2. プラチナ関連インフラの不在(特にタイ)

ー Ptリースが得られない(日本ではヘッジ手段の中心)

ー Ptリサイクル機能が得られない(より多くの地金在庫が必要)

### ■ 結果的に大きな地金関連損失の発生

# 1. 海外製造拠点での差損発生

- 貴金属地金相場下落に伴う差損の発生  
(地金相場と地金簿価の乖離)

### ■ 当期での対策

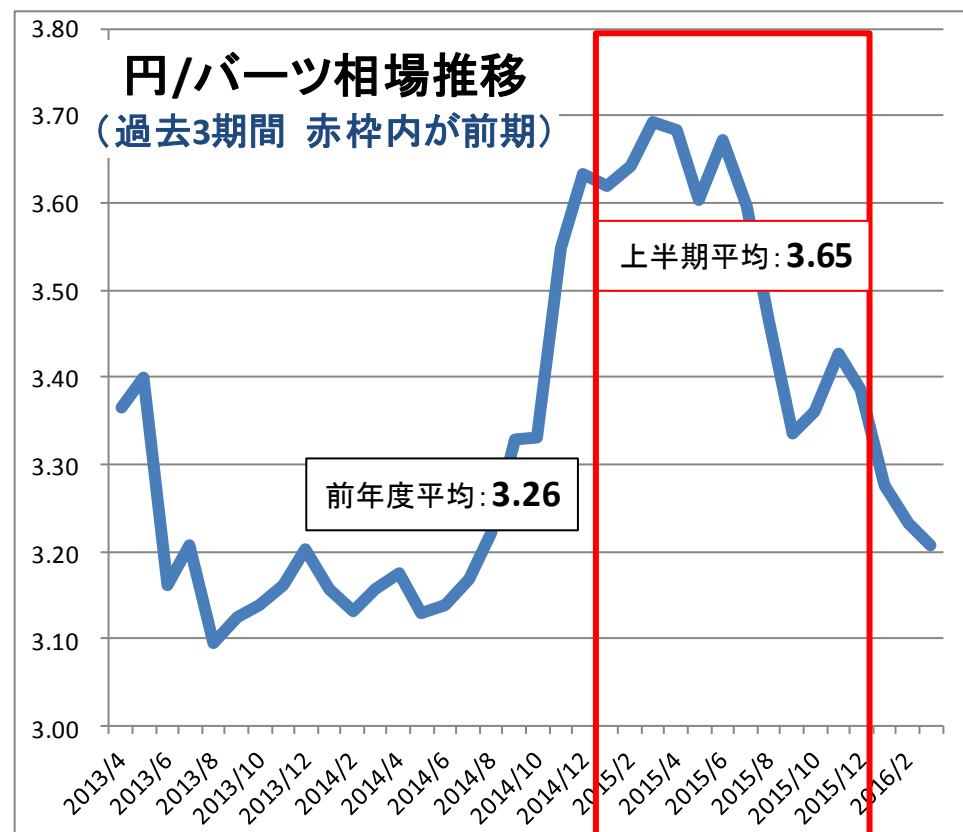
1. 委託加工取引への変更によるヘッジの導入(タイ)
  - ー 現在は輸出販売取引だが、  
委託輸出入管理(地金・ダイヤ)のシステム構築を準備中  
地金を本社側在庫として本社で統合管理
2. 貴金属地金リースの実施(中国)
  - ー 中国人民銀行とのリース取引を準備中
  - ー 本社指示によりリース運用を管理。 本社で統合管理。

# 1. 海外製造拠点での差損発生

## ● 為替相場変動に伴う差損の発生

### ■ 前期上半期での円安の進行

- 円/バーツレートが前年比較で約11%円安
- 円建て加工賃取引のため、現地での収益が大幅減少
- 為替差損が発生
- 下半期では沈静化





# 前期レビューと2017年3月期の見通し

---

## 1. 海外製造拠点での差損発生

- ・ 貴金属地金相場下落に伴う差損の発生
- ・ 為替相場変動に伴う差損の発生

## 2. 国内市場の現状と見通し

- ・ ブライダル・ファッションジュエリー・素材市場のシェア拡大
- ・ 卸売市場のシェア拡大

## 3. 海外市場の現状と見通し

- ・ 中国市場への深耕
- ・ アジア・北米市場開拓

## 4. 製品力の現状と見通し

- ・ 海外での製品力強化
- ・ 3D技術・デザインコンテスト

## 2. 国内市場の現状と見通し

### ● ブライダル市場のシェア拡大

#### ■ 結婚組数減少の中での売上増加

- 新型モデル採用による売上増
- 既存取引先の安定したシェア確保

国内ブライダル売上高  
目標108%に対し、  
前期比 **115%** に増加

- 新型開発の継続によるシェア拡大



## 2. 国内市場の現状と見通し

### ● ファッションジュエリー市場でのシェア拡大

#### ■ ミドルジュエリーの開発

- ー 最高品質ダイヤ トリプルエクセレント・ハートアンドキューピッド(3EXH&C)を使用した「D+(ディープラス)」の新作を発表



#### ■ ユニバーサルデザインの引輪金具「輪王(Wao)」

- ー 積極的な販売活動、形状/サイズ展開により販売数量が前期比230%に増加
- ー 海外での販売を拡大



▲ 輪王(Wao)

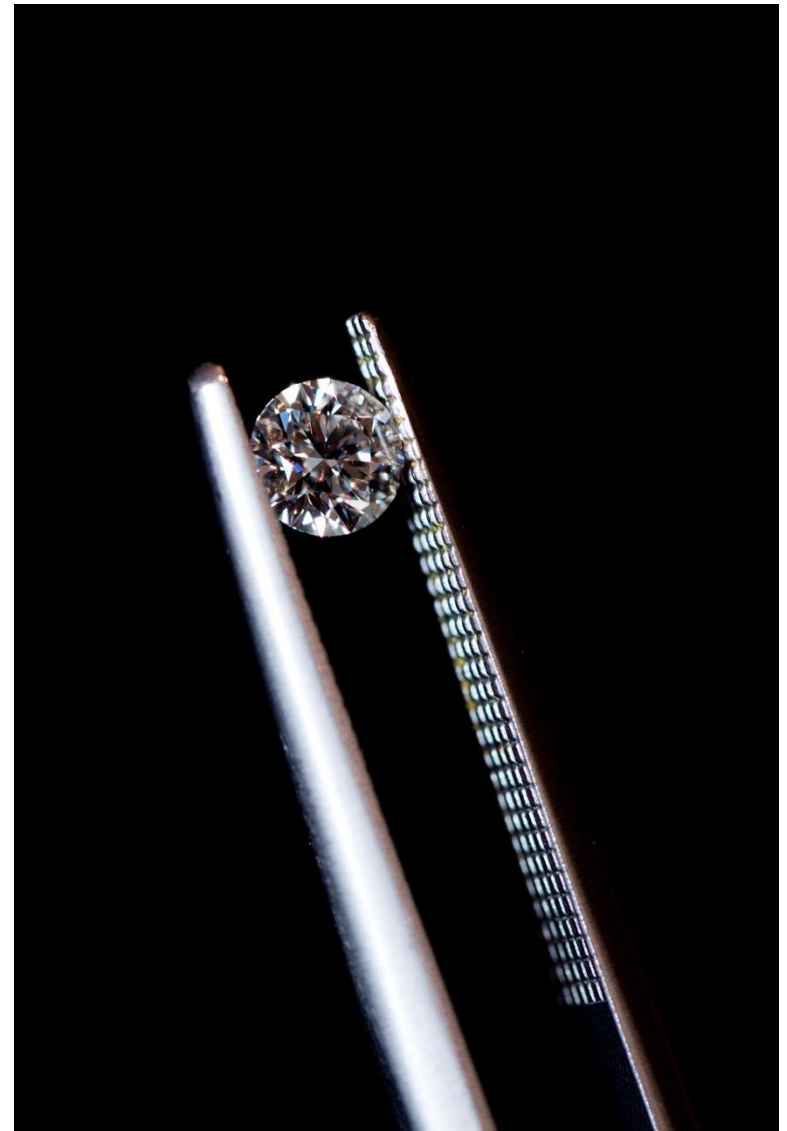
## 2. 国内市場の現状と見通し

### ● 素材市場でのシェア拡大

#### ■ 素材市場でのシェア拡大

- ー 最高品質ダイヤ トリプルエクセレント・ハートアンドキューピッド(3EXH&C)の積極的な販売活動
- ー その他メレダイヤの提案販売

ダイヤ素材売上高  
前期比 133% に増加



## 2. 国内市場の現状と見通し

### ● 卸売市場でのシェア拡大

#### ■ (株)HAKKOインターナショナルを設立

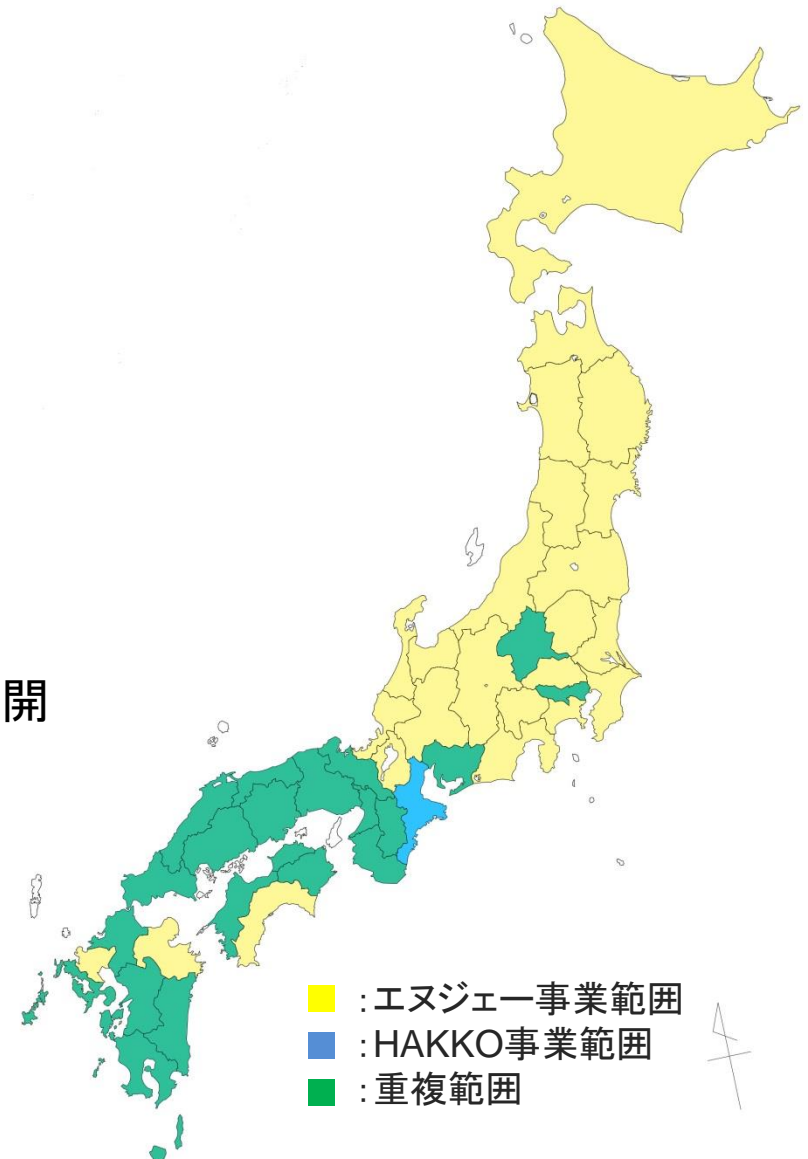
ー (株)白光より事業譲渡 (2016年2月)

(株)白光

- ・設立1963年
- ・売上高1,505百万円(2015年2月期)
- ・西日本地域を中心に卸売事業を展開

ー 西日本地域における売上拡大

ー (株)エヌジェーとのシナジー効果を期待



# 前期レビューと2017年3月期の見通し

---

## 1. 海外製造拠点での差損発生

- ・ 貴金属地金相場下落に伴う差損の発生
- ・ 為替相場変動に伴う差損の発生

## 2. 国内市場の現状と見通し

- ・ ブライダル・ファッションジュエリー・素材市場のシェア拡大
- ・ 卸売市場のシェア拡大

## 3. 海外市場の現状と見通し

- ・ 中国市場への深耕
- ・ アジア・北米市場開拓

## 4. 製品力の現状と見通し

- ・ 海外での製品力強化
- ・ 3D技術・デザインコンテスト

### 3. 海外市場の現状と見通し

#### ● 中国市場への深耕

##### ■ 景気減速、市場縮小の状況での販売活動

- ー 香港では、小売市場の大幅な縮小により苦戦
- ー 中国本土では、中国eコマース企業への攻勢、新規取引先2社獲得など、大幅な売上拡大で、香港の減少分をカバー

中国市場における売上高  
前期比 116%

- ー ブライダル市場および高級ファッションジュエリー市場への深耕を進める



### 3. 海外市場の現状と見通し

#### ● アジア・北米市場の開拓

##### ■ アジア市場

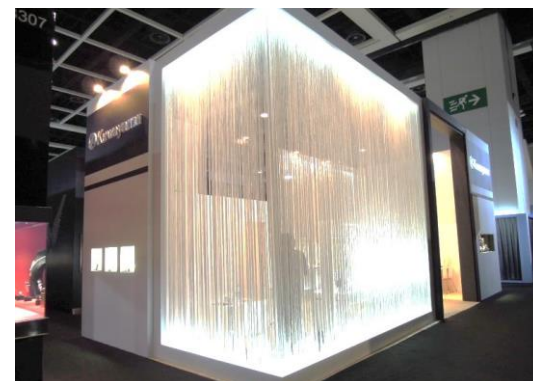
- ー アセアン地域は、景気低迷により市場が振るわず
- ー 韓国においては、主要取引先での大幅な売上拡大

アジア市場における売上高  
前期比 208%

##### ■ 北米市場

- ー 既存取引先への販売拡大、新規取引先の獲得に成功
- ー フェア出展を継続し、引き続き売上拡大を進める

北米市場における売上高目標  
前期比 139%



▲ 香港ジュエリーフェア



▲ ラスベガス クチュールショー



# 前期レビューと2017年3月期の見通し

---

## 1. 海外製造拠点での差損発生

- ・ 貴金属地金相場下落に伴う差損の発生
- ・ 為替相場変動に伴う差損の発生

## 2. 国内市場の現状と見通し

- ・ ブライダル・ファッションジュエリー・素材市場のシェア拡大
- ・ 卸売市場のシェア拡大

## 3. 海外市場の現状と見通し

- ・ 中国市場への深耕
- ・ アジア・北米市場開拓

## 4. 製品力の現状と見通し

- ・ 海外での製品力強化
- ・ 3D技術・デザインコンテスト

# 4. 製品力の現状と見通し

## ● 海外での製品力の強化

### ■ 中国第2工場の設立

- 中国本土での生産能力の拡大に向け、広州市に新工場を設立
- 2016年1月より本格稼働し、生産・出荷を開始
- 今後、生産能力を高めていく



▲ 中国第2工場 見取り図



# 4. 製品力の現状と見通し

## ● 海外での製品力の強化

### ■ タイ工場の増床

- 増床工事が完了し、2015年10月より本稼動
- 生産能力は計画通りの進捗で前期比130%を達成
- 最終目標の従来比150%へ高めていく



## 4. 製品力の現状と見通し

### ● 3D技術の最大活用

#### ■ 3D技術による製品力の多様性を創造

- 軽量化とボリュームを両立させた新製品を開発、IJT2016にて発表
- 国内取引先で既に販売、中国大手取引先で大型案件として商談進行中



▲ 3D設計ならではのユニークな構造



▲ 製品強度を保ちつつ軽量化

## 4. 製品力の現状と見通し

### ● JJA ジュエリーデザインアワードでの連続受賞



株式会社エヌジェー  
日本ジュエリー大賞・  
内閣総理大臣賞 受賞



株式会社桑山  
東京都知事賞、  
プラチナ・ギルド・インターナショナル賞、  
技術賞 受賞

JJA = 社団法人日本ジュエリー協会

## 4. 製品力の現状と見通し



▲ couture show 受賞風景



▲ couture show アワードトロフィ

2016.6.4 “Couture Design Award”  
Platinum Jewellery category

“WINNER”



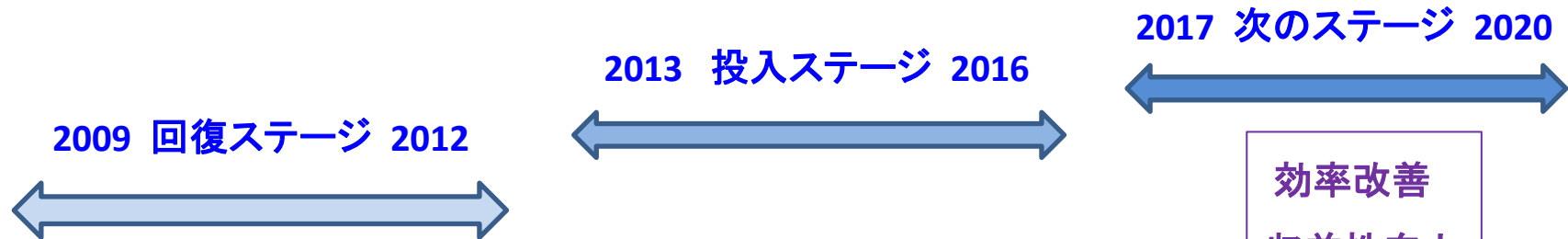
株式会社桑山  
東京都知事賞、  
プラチナ・ギルド・インターナショナル賞、  
技術賞 受賞

## Ⅲ. 次のステージに向けて

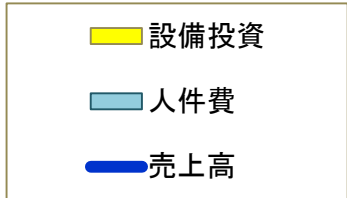
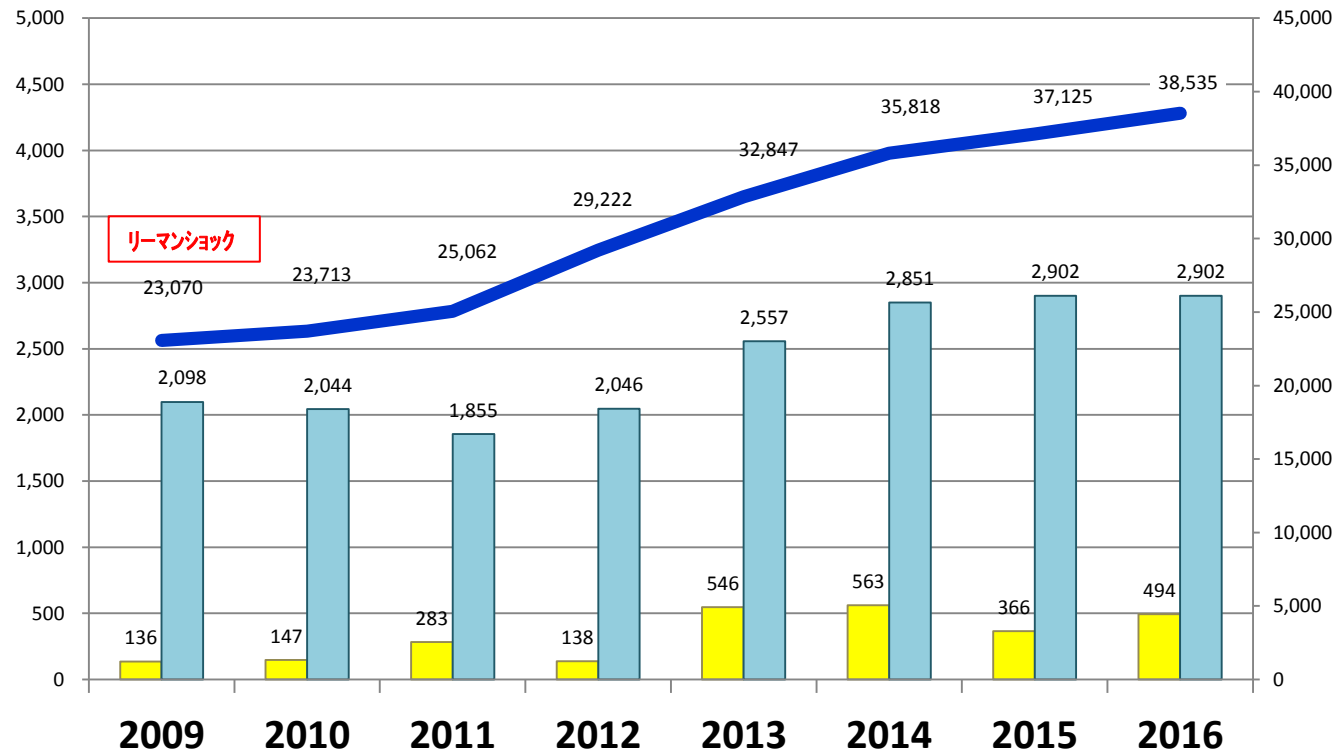
---

# Ⅲ. 次のステージに向けて

2009.3月期 - 2016.3月期 経営ステージの推移



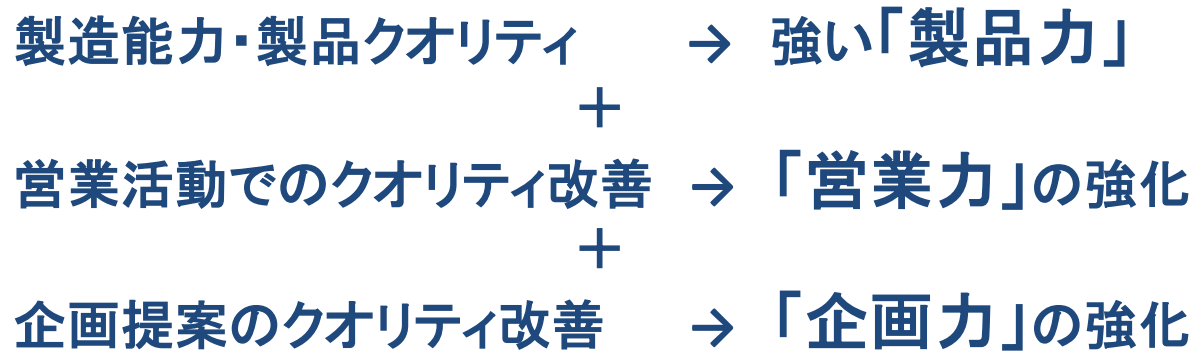
効率改善  
収益性向上





# 企業競争力の強化

## ●「製品力」の最大活用



企業活動全体のクオリティの高さ



永続的な信頼関係

# 企業競争力の強化

「クオリティ・ファースト」

## 企業競争力の強化



「クオリティ・ファースト」

収益性向上

ご清聴 ありがとうございます



<http://www.kuwayama.co.jp/>

<お問い合わせ先>

株式会社 桑山（経営企画部）

TEL: 03-3835-2519 FAX: 03-3839-2560